

# 京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2頁 魅力ある教会って?? (長浜教会)

4頁 司祭への招き(カトリックの司祭として一生をおくりませんか)

京都教区広報委員会  
編集長 村上透磨  
京都市中京区  
河原町通三条上る  
TEL 075-211-3468  
FAX 075-211-4345  
kouhou@kyoto.catholic.jp

点訳版「京都教区時報」(無料)  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。  
TEL・FAX 0794-31-8601

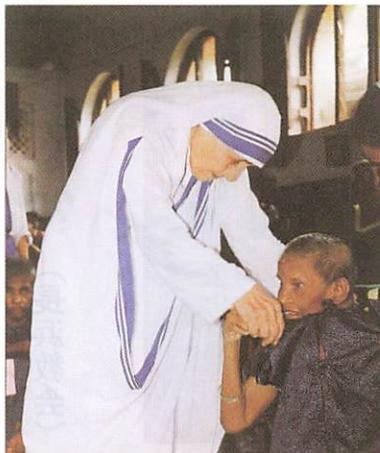
2013年 司教年頭書簡「信仰パート3」

## 6. 与える愛を生きる喜び

この言葉を聞くと、誰でもすぐ福者マザーテレサのことを思い浮かべます。

マザーテレサの愛は、まさにこの「与え尽す愛」と言うよりも、まさに「献げ尽す愛」であつたし、その姿は喜びにあふれていました。でもふつと思いまして。マザーは自

分の愛を与えるのではなくて、ご自分の全てを(命までも) 献げ尽しておられるキリストを(私たちが言う、いわゆる) 小さな人々の中に探しに行かれたのではないか、と言うことでした。どうも高慢な私たちには、何か善行をほこり、そのような自分であることを見て、安心し喜んでいるのではないかと思わされることが多く、自分は愛



にあふれた聖なる人になつたんだと、何か自己満足している自分に気付くのです。それに与えることや、捧げ尽すこととは、犠牲や苦しみも伴うので、つい避けたいと思うし、そんなに心から喜んではしていい。仕方がないからやっている、そんな私たちを見て、時々人はあやまって優しいですぬ、なんて言つてくださる。そんな私たちは、信仰が足りないのかいと悲しく、はずかしくなる。

「何にも持たないでよいから、行って福音を述べて来なさい」と言われたので出かけて行くと「何かください」と物乞いされ、そこでペトロは言うのです。「私たちは何も持つてないけれど、一つだけ持つているものがある、イエス・キリスト様です、だからその方をあげます」(使徒言行録3・5-6)と、そうすると願いがかなえられ、二人の中に大きな「喜び」と「賛美」と「おどり」が生まれたのです。

何にも私たちは持っていないけれど、何でも持つていらっしゃる主キリストを持っている、それを分かち合うことが、あなたと私そしてキリストの喜び(大喜び)なんですね。

有り難い  
有り難い

(村上透磨)

7  
2013

シリーズ  
小教区

# 魅力ある教会って?? (長浜教会)

(長浜教会)

— 天使の舞う  
国際コミュニティー教会 —

私たちの現在の教会は、国際コミュニティーのメンバーの中で日本人も一翼を担つておられる状況です。ラテンアメリカやフィリピンの多くの信者が長浜教会に往来し、日本人は月2~3回行われる日本語ミサに数名参加するのみで、熱心な外国人信者のギター演奏による聖歌合唱や書簡朗読などに助けられ、かろうじて教会を維持しています。

長浜教会の歴史は1950年代にメリノール宣教会の神父様方のご苦労のもとが始まり、観光で有名になった現在の黒壁ガラス館が元の長浜教会でした。黒壁時代33年を経て現在の教会を建設、移転しました。

カトリック保育園に隣接した広い駐車場も確保できて、黒壁時代の不便さは解消したのですが、その頃から信者の高齢化が始まり、子どもたちも成人して親離れをするなど、信者も極端に減少しました。加えて外国人の来日が始まり、信仰心の篤い外国人信者の故郷として、この新しい教会が彼らのコミュニティーの場となり、外国語ミサも増えて毎週の日曜ミサにも調整の必要が生じてきました。それが現在の主日ごとのミサの国別組合となりました。

そして日本語ミサには前述のようにミサながらのギター演奏となり、陽気で楽しいミサに毎回与れる幸せを得られました。愛らしいブラジルの女の子などは、一緒に歌を口ずさんだり、主の祈りには大人と同じように手を繋いで祈ったり、平和の祈りには祭壇の神父様や者者そして会衆の皆さん握手して回ったり、まるで天使が舞いミサを盛り上げくれているような微笑ましい情景が、毎見られます。

長浜教会にとって魅力ある教会とは、時代の要求に沿つてこのような国際ミサが日常行える『今から』がそうなのではなかと思われます。ポルトガル語が



フィリピン人聖歌隊（前2列）



フィリピンのマリア祭の子どもたち

きなくても、タガログ語が分からなくてき、共に祈り、共にご聖体を捧領し、共に同じ信仰に生きる普遍的な理想の教会となるよう努める必要があると思っています。国際人として外国の信者とコミュニケーションを深め、親しくなる必要から、小教区評議会も毎月1回各国の代表が集まり、茶菓子を交えて家庭的な雰囲気で着実に行っています。

今までなかった侍者会も、担当司祭の緻密な指導で、外国の子どもたちが育ち始め、毎回のミサは勿論、教区の活動にも参加できるようになりました。離れている日本人信者にも、神さまの眼差しが注がれていることを信じ、少数の日本人でも頑張りたいと思っています。

カトリック長浜教会 信徒一同

私たちキリスト者は、なぜ環境問題に取り組むのでしょうか。あるいはキリスト者として環境問題に取り組むことは、どのような意味があるのでしょうか。

瀬本師によると、環境保護に携わるのは、第一に、この地球の一部である人類として、そして世界市民である人間として、当たり前のことだといいます。私たちは、この地球上に住む自然界の一部である「地

球人」として、そして「世界市民」の役員として環境問題に取り組む義務と責任があります。

第二に、環境保護に携わるのは、キリスト者の使命であります。それは神様が「極めて良いもの」(創1・31)としてお造りになつたこの自然界的秩序を、「耕し、守る」(創2・15)ことにほこられました。(創1・27)人間は、知恵と意志のあるものとして、さらに、「地に満ちて地を従わせ、海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物をすべて支配(支え、

2013年5月25日(土)に第2回目の信仰年特別講演会「キリスト者にとっての環境問題」(信仰を生きる)が、河原町教会ヴィリオンホールで行われました。講師はイエズス会の瀬本正之師。環境問題を、キリスト者が信仰を生きる上で当然のつとめとして捉え直す、良い機会となりました。

## 信仰を生きる



心を配る」(創1・28)する役割を与えたものとして、目に見えない神様のために奉仕する使命があります。言い換えれば、人間は、神様が蒔いてくださった種を自分のためだけではなく、すべての人々のため、そしてこの世に存在するあらゆる生き物のために維持し、増やすことができる将来のことを考えることができます。つまり、私たちキリスト者が、神様のお造りになつた自然界を保護し、神の望む姿へと導かれるように、神の福音を賛美し、神の命を救いの道を得るために、ヨラの聖イグナチオ「原理と基礎」「靈操」に大切で、必要不可欠な要因の一つであるということです。

瀬本師は、キリスト者として環境問題に関わる根拠を次のようにまとめてくださいました。第一に、それは神への賛美であるといいます。神がその被造物を「お作りになつたあらゆる被造物が神への賛美の神への賛美」がおなります。神の福音は神と人間の和解だと思います。第二に、それには神と人間の和解のための奉仕だと



このように考えると、キリスト者として環境保護に携わるのは、神を信じる者として当たり前のことであると気づかされます。キリスト者の当たり前の使命として、自然界との関わりを見直すことによって、リサイクル、ごみの分別など、ための協力者となるよう招かれています。

「神の栄光の輝きを反映させる」姿へと変容していく「神の愛の計画の完成」のための協力者となるよう招かれています。

環境問題に取り組むことでも新たな視点を持つて環境問題に取り組むことができるようにならないでしょうか。

福音宣教企画室

ハーモニーの指揮者であります。第二に、それは神と人間の和解のための奉仕だと

**司祭への招き**  
カトリックの司祭として  
一生を送りませんか

＜イエスは弟子たちを呼ばれた＞

イエス・キリストは、福音宣教をご自分  
の弟子たちに委ねられました。洗礼を受  
け神の民となつたすべてのキリスト者は、  
それぞれに遣わされ生活の場において  
福音を生き、イエス・キリストを証す  
福音宣教の使命を受けています。しかし、  
その使命を受けた神の民をみことば  
によって力づけ、秘跡を通してサポート  
するために、また、直接に神のみことば  
の宣教に奉仕するため、神の民の中に  
司祭職をお定めになりました。教会は古  
い時代から、司祭、修道者となって、神  
の福音を述べ伝えるという召命を大  
切にしてきました。

＜日本における司祭養成は？＞

日本における現在の司祭養成は、日本  
カトリック神学院において行われていま  
す。神学生の養成課程は全部で6年間で、  
哲学過程の2年間と最終学年の助祭コー  
スは東京キャンパスにおいて、神学過程

日本カトリック神学院



東京キャンパス



福岡キャンパス

＜若者の皆さんへ＞

の3年間は福岡キャンパスにおいて過ご  
します。京都教区では今年の3月に小立  
花忠師が司祭叙階され、現在1名の神学  
生が在籍しているだけとなっています。  
一人でも多くの若者が神の呼びかけに応  
えて、司祭職への道を歩むように祈りた  
いと思います。

教皇フランシスコは復活節第4主日の  
サンピエトロ広場で行われた「アレルヤ  
の祈り」の中で、よき牧者の主日にあ  
たり、以下のように述べられます。「イ  
エスはご自分の御父との関係にあずかる  
よう、わたしたちを招きます。これが、  
永遠のいのちです。イエスは、ご自身  
の父との関係を反映するようなしかた  
で、友との関係を打ち立てようと望みま  
す。イエスの父との関係は、完全な信頼  
と深い交わりのうちに、互いに互いのも  
のとなる関係です。このようない深い理解  
と友愛の関係を表すために、イエスは羊  
飼いとその羊というたとえを用います。  
さらに続けて「イエスはわたしたちを招  
くことがあります。ご自分に従うよう招  
くことがあります。しかし、それがイエ  
スだと気づかないこともあります。（若  
者の）皆様にお尋ねしたいと思います。」  
望みや不安を通じて、もつと親しく自分  
に従うようと招く、主の声を聞いたこ

とがありますか。聞いたことがないとう人がいますか。イエスの使徒になりたいと望んだことはありますか。若者は偉大な理想に賭けてみる必要があります。そう思いませんか。イエスが何を自分に望んでおられるか、尋ねてください。勇気をもってイエスに尋ねてください。」といわれます。若者の皆さん、あなたにイエスは呼びかけておられるかもしれません。京都教区のホームページ(www.kyoto.catholic.jp/)

「司祭への招き」を一度見てください。

### 〈信徒の皆さんへ〉

京都教区には「神学生・司祭養成協力会（一粒会）」があります。司祭職を目指す神学生を祈りと献金で支える運動です。皆様のお祈りに感謝いたします。昨年の協力献金は一一、五六六、五五〇円でした。ありがとうございました。この献金は、神学生の養成のために、また海外から来られた司祭の日本語研修のためにも充てられています。改めて、皆様のさらなるお祈りと犠牲をお捧げいただきますようにお願ひいたします。

神学生養成担当者 カトリック京都司教区  
神学生・司祭養成協力会（一粒会）担当司祭  
花井拓夫  
北村善朗

2013年

## 安土セミナリヨ記念ミサ

滋賀カトリック協議会では、今年も去る4月29日に「安土セミナリヨ記念ミサ」を行いました。最近は外国人の参加が増え、その準備や進行にも一役買つてもらい、エレクトーンの他にギター演奏も加わり、国際色豊かな楽しいミサでした。

当日は晴天に恵まれブラジルやフィリピンの信者その他、近隣から巡礼者や多数のシスターたちも加わり総勢150人が安土セミナリヨ跡公園に集まりました。また特別に記念講演のために来て頂いた溝部脩司教様（高松教区名誉司教）と3人の滋賀地区担当司祭の4人の司式によってポルトガル語、英語、タガログ語、日本語など日々の祈りや聖歌が交互に歌われました。

この記念ミサは、430年前、安土で学び宣教への志に燃えたが為に迫害に殉じた若き学生たちをしのび、私たち信者がマカオに流刑された経緯なども興味深く聞くことができました。

ここセミナリヨ跡公園は、春には見事な桜が咲き、安土町の集いの場として、近隣の老人会の皆さんにより、美しく維持管理されてきました。そして近江八幡の水郷めぐりの立ち寄り先としてセミナリヨ跡公園が観光地に加えられ、公園に隣接する船着き場が整備されました。市民の憩いの場所とともに、巡礼地の対象としても訪れる人が多くなったそうです。

滋賀カトリック協議会



昼食時の歌の交流会

## 東日本大震災「大船渡支援」献金者名簿 報告

京都教区サポートセンター

2013年1月1日～5月31日の間に献金してくださった方々です。

感謝してご報告いたします。

特別養護老人ホーム神の園、希望の家児童館、特別支援学校聖母の家学園、河原町教会エリの集い、ときわハウス、サンパウロ京都宣教センター、新信者のミサ、河原町教会ぶどうの会バザー、カトリック聖母保育園、津カトリック保育園、京都司教区カトリック保育者研修会、大久保由美、久家叡治、奥本孝史、ショファイユの幼きイエズス修道会京都修道院、ヌヴェール愛徳修道会地区本部、ヌヴェール愛徳修道会深草修道院、ヌヴェール愛徳修道会九条修道院、善きサマリア人修道会奈良修道院、聖ヨゼフ修道会白梅町修道院、宇治カルメル共同体、河原町教会、宮津教会、西大和カトリックセンター、田辺教会、久居教会、桂教会、長岡教会、大和八木教会、西院教会、唐崎教会、青谷教会、西陣教会、名張教会、丹波教会、草津教会、登美が丘教会、御所教会、小山教会、八幡教会、富雄教会、高野教会、大津教会、伊勢教会、東舞鶴教会、衣笠教会、伏見教会、大和高田教会、宇治教会、福知山教会、四日市教会、彦根教会

(順不同／敬称略)

## 大阪教会管区プロジェクト献金報告

### 大船渡ベース「地の森いこいの家」

(2012年4月～2013年3月末現在)

(単位千円)			
支出：援助事業	742	収入：献金合計額	68,174
人件費等	6,893	前期繰越金	41,430
福利厚生費	56	当期収支差額	49,416
維持管理費	2,235		
事務管理費	5,871		
財務支出	2,961		
合　　計	18,758	次期繰越金	90,846

東日本大震災大阪教会管区

大船渡ベースの活動へのご支援を

今後とも宜しくお願ひいたします。

## 7月のお知らせ

## 教 区

**福音宣教企画室**／Tel.075(229)6800

講演会～キリストの歴史から学ぶ～

日 時：16日㊁、23日㊁ 13:30～15:00  
 (開催日が16日㊁に変更になりました)  
 テーマ：キリスト時代における  
 宣教師たちと日本の教会

講 師：溝部 僕司教  
 会 場：河原町教会 ヴィリオンホール  
 参加費：各回300円(当日受付)

**典礼委員会**／Tel.075(211)3025 ㊁㊁㊁

典礼研修会「典礼憲章」を学ぶ

日 時：9日㊁、23日㊁ 14:00～15:30  
 テーマ：第1章 典礼の刷新と促進のための  
 一般原則①(9日)／②(23日)

講 師：奥村 豊師  
 対 象：小教区典礼奉仕者  
 (各小教区4名程度、事前申込み不要)

場 所：カトリック会館 6階

**聖書委員会**／Tel.075(211)3484 ㊁㊁

聖書講座「信仰の喜びと福音宣教」

日 時：10日㊁ 19:00 11日㊁ 10:30  
 テーマ：神のことばと福音宣教

講 師：奥村 豊師  
 日 時：24日㊁ 19:00 25日㊁ 10:30  
 テーマ：主を待つ喜びと福音宣教  
 講 師：村上 透磨師  
 会 場：河原町教会 ヴィリオンホール  
 よく分かる聖書の学び

日 時：31日㊁ 10:30  
 講 師：北村 善朗師／参加費：300円  
 会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

## 地区協議会

**奈良カトリック協議会**聖書講座—信仰の核としての出エジプト記一  
 日時会場：12日㊁ 19:00 大和郡山教会  
 13日㊁ 10:00 奈良教会  
 テーマ：シナイへの荒野の旅  
 講 師：英 隆一朗師(イエズス会)

## 修道会

**聖ドミニコ女子修道会**(京都修道院)

Tel.075(231)2017 Fax.(222)2573

ロザリオを共に祈る会

日 時：19日㊁ 10:30～12:00

## 男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

社会人のための靈的同伴(松田 浩一師)

日 時：12日㊁ 20:00～13日㊁ 15:00

参加費：5,500円(宿泊・食事込)

一般のための默想(松田 浩一師)

日 時：13日㊁ 17:00～14日㊁ 16:00

テーマ：信仰宣言に生きるカトリック

参加費：6,500円(宿泊・食事込)

カルメル山の聖母の祭日ミサと

スカプラリオ信心の着衣式と更新式

日 時：16日㊁ 10:00

司 式：松田 浩一師

水曜默想(九里 彰師)

日 時：24日㊁ 10:00～16:00

テーマ：信仰の種

参加費：2,700円(昼食代他)

## 諸 団 体

## 京都カトリック混声合唱団

練習：7日㊁、14日㊁、21日㊁ 14:00  
 27日㊁ 18:15

カトリック会館 6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練習：11日㊁、25日㊁ 10:00

カトリック会館 6階

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイAスポーツプラス  
 毎週土曜日 朝 7:45

松浦 信行師(大阪教区)による

シリーズ「イエスのポートレート」

ラジオ(KBS京都) ㊁～㊁ 朝 5:15

7月のテーマ「青春」

## 京都教区サポートセンター

東日本大震災「大船渡支援」献金報告

5月分 834,254円／累計 29,862,000円

「大船渡支援」献金 郵便振替口座

口座番号「01000-2-0024724」

加入者名「カトリック京都司教区本部事務局」

摘要欄に「大船渡支援」とご記入ください。

## ボランティア募集中

詳細は京都教区ホームページをクリック

京都教区

検索

※ 9月号の原稿締切り日は7月24日㊁です。

## 大塚司教の

### 7月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



4日㊁ 10:00 中央協 常任司教委員会

5日㊂ 11:00 日本カトリック保育施設協会  
理事長・施設長研修会(奈良市)

7日㊃ 10:00 奈良地区 南部ブロック  
司教訪問(大和八木)

10日㊄ 14:00 福音宣教企画室・典礼委員会  
合同会議

11日㊅ 14:00 司教顧問会

12日㊆ 11:00 大阪教会管区司教会議  
(大阪大司教館)

19:00 綾部宗教懇話会  
平和の祈りの集い

14日㊇ 10:30 京都南部地区 洛東ブロック  
司教訪問(桃山)

16日㊈-26日㊉ 十勝カルメル会 訪問

28日㊊ 9:00 綾部教会 ミサ  
15:00 福知山教会 英語ミサ

## NWM in 京都のお知らせ

河原町教会 橋本 仁子

みなさんこんにちは！

皆さんは、ネットワークミーティング(通称 NWM)ってご存知ですか？

京都教区にも、カトリックの信者である青年は大勢いますが、全国にも同じようにカトリック信者の青年は大勢います！ このNWMは、年に2回、日本全国津々浦々からカトリックの青年たちが集まって、交流や情報交換をする大きなイベントなのです！

今回はなんと！ そのNWMを京都で開催します!! 現在、京都教区の青年たちがスタッフとなって、全国から集まってる青年たちをどのようにもてなそうか、月に1回程度会議の時間を設けて、あーでもないこーでもないと話し合っています(笑)

せっかくの京都での開催の機会ですので、是非皆さん!! ふるってご参加下さい！

日 時：9月21日㊁～9月22日㊂(延泊可能)

場 所：友愛の丘(京都府城陽市)

テマ：「一見(いちげん)さんおこしやす」

～すべてのつながりは京都から～

対 象：18歳～35歳程度まで(高校生不可)

問合せ：京都カトリック青年センター

TEL：075-414-6239

E-mail：[seinen@kyoto.catholic.jp](mailto:seinen@kyoto.catholic.jp)

詳しくは、青年センターのHPをご覧ください☆

